



勢いよくプロペラが回り、機体がふわっと浮かび上がった瞬間、初老のご婦人が「わあ、飛んだよ！」と歓声を上げるのが聞こえました。鹿児島空港から奄美空港までは日本エアコミューター（JAC）のプロペラ機で1時間ほどの距離。眼下に屋久島や種子島、そして青く透きとおった海を望みながらの空の旅はあっという間に終わります。到着した奄美大島で浴びる太陽は、本州のそれとは比べものにならないくらい元氣です。

奄美群島は大小8つの有人島を中心に成り立っており、そのうちJACが5島を結んでいます。JACは現在でこそ本社を鹿児島空港へと移していますが、1983年にここ奄美大島で生まれました。それだけに、地域への思いも特別です。それぞれの空港で働くスタッフは、

への初便で部品輸送を行いました。そして、影響を最小限に抑えたのです。

近年、美しい奄美群島を世界自然遺産に登録しようと、大きな動きができています。JALグループでも、国の特別天然記念物で絶滅が危惧されるアマミノクロウサギの保護を目的に、日本ナショナル・トラスト協会の活動に協力し、「JALアマミノクロウサギの森」をつくりました。これは森の一部を取得することで生育域を開発から保護するものです。この取り組みに賛同していただいたJALマイレージバンク会員の皆さまからはチャリテイマイルを頂戴しました。JACでは、2013年4月から6月末まで、奄美到着便機内でのアナウンスやリーフレット配布、奄美空港でのポストター揭示などのほか、機内誌、ホーム



奄美大島と徳之島のみで生息するアマミノクロウサギ(写真：常田 守氏)

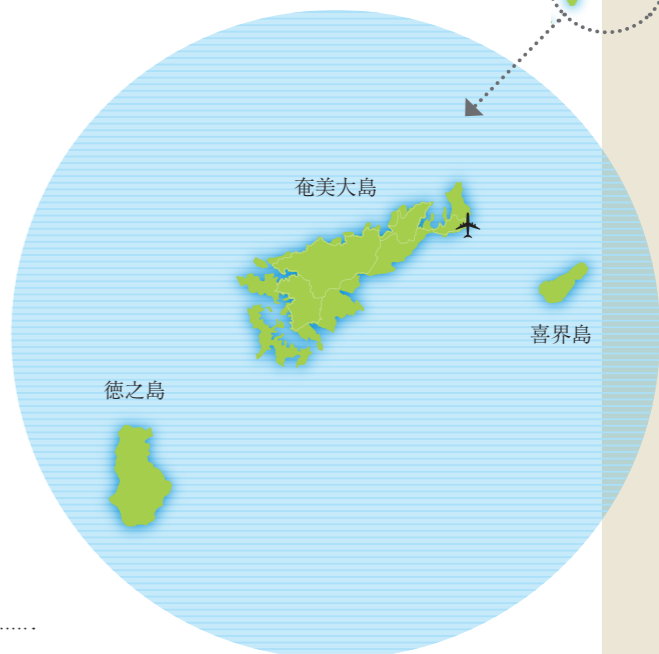


九州

鹿児島

訪 | 探 | 港 | 空

プロペラ機が結ぶ島の絆



奄美大島

喜界島

徳之島

そのほとんどが各島出身者です。休日も道路の整備や各集落の清掃、花壇の花植えなど、地域に根差した活動を行っています。もちろん、活動は災害時にも及びます。奄美大島が大雨による土砂災害を受けたときも、各集落で復興に向けた活動を精力的に行いました。

JACのプロペラ機は奄美群島の島から島へ、細やかなスケジュールで飛び回っており、生活と深くつながっています。

とを目標にしています。

奄美群島路線の中心である奄美大島からつながる周囲の島々。旅行の計画を立てる際はそれぞれに違った魅力をもつ各島を見ながら、次はどこに行こうかと悩ましい日々が続くことでしょう。近年、奄美群島の美しさを細やかなスケジュールとともに体験していただくとうと、JALバックでは少し変わったツアーを設定しています。その名も、「JMB句感旅行 小型プロペラ機で奄美諸島のアイランドホッピング」。JACのプロペラ機に乗り、奄美諸島の離島を飛び回る旅です。2日間、航空機に搭乗する回数は、なんと16回。ゆつくりと島内を観光することはできませんが、各島で表情が異なる景色や空港での地元色あふれる出会いに胸躍る時間が待っているはず。

ています。例えば医療。あるいは電気や通信機器の保守点検。特に7月から9月にかけて奄美群島周辺を通過する台風の前夜では、停電対策などのために頻繁に技術者が往來します。

島の皆さまの生活の足として、運航を守ることに対する強いこだわりがあります。ある夜、喜界島空港で航空機の整備が必要となり、翌日の運航スケジュールにも影響が出てしまいましたが、整備士が奄美大島から喜界島間の小船をチャーターし、深夜に原因究明を行って、あくる朝に鹿児島から喜界島

奄美大島の代表的な郷土料理「鶏飯(けいはん)」。ごはんには具材を盛りつけ、特製のだしをかけてお茶漬けのように食べる。



田中一村記念美術館。水面に映る高床式の建物を見ているだけでも癒される。



奄美群島はダイビングの名所としても有名。徳之島は海ガメ遭遇率が高い！



奄美大島といえば大島紬。職人が想いを込めて絹糸を紡ぎ織りあげるのが美しさの秘訣。

